

松禪寺報

石室山 松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第74号

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成29年7月25日



夏の雲

夏の雲
杉木立の参道を、
汗を拭きながら歩いていると
サアーツと
涼しい影が行きすぎて
蝉しぐれが突然止んだ。
フト空を見上げると、
真っ白な雲が流れてゆく。
その姿が何だか頼もしくて
思わず夏帽を取った。
ハテそういえば、
その雲の形は
これから参ろうとする
仏さまのお姿にそっくりだ。

梅雨明けぬ境内に響く祈りの経と歌声

栗尾ふるさと委員会が「薬師祭」を主催、法要とコンサートなど

梅雨の明けきらぬ7月8日(土)、夕方になって三三五五、村の人たちが集まってきました。栗尾薬師大祭を明日に控え、その準備と餅搗きを行うためです。これは、松禪寺境内に祀られる薬師如来のお祭りです。栗尾ふるさと委員会「ふるさと135」(会長・西垣章一さん)が主催する行事です。栗尾ふるさと委員会の委員や有志ら22名が集まり、栗尾区の各戸から寄せられた餅米は2斗9升(約52kg)、17臼を杵と臼で餅に仕上げました。



▲心静かに写経

大祭当日の9日は、午前11時には写経をされる人が寺へ来られました。午後1時半、会長・西垣章一さんの開会挨拶



擲に続き、豊岡市議会議員・福田嗣久氏、但東シルクロード観光協会会長・淀逸郎氏よりそれぞれお祝いのお言葉をいただきました。

法要は薬師堂において、瑞泉寺様(朝来市)のご荷担をいただき、参拝

者皆さんと一緒にお経を唱え「福慧増長し心身安樂にして、諸縁吉祥ならんことを」と、健康長寿や無病息災を祈願いたしました。この間、境内では餅搗きも行い、参拝された皆さんにきな粉餅、草餅が振る舞われました。

午後2時半、玉田寺様(与謝野町)



▲レイリィ河嶋浩司さんの熱い歌声に感動しました

のご負担をいただき、本堂においてコンサートの始まりです。今年は、レイリィ河嶋浩司さん(京都府・与謝野町)の迫力迫る生ギターと歌声のライブです。関西はもとより関東、東北までギター一本の弾き語りスタイルで活躍されているシンガーソングライターです。すべて河嶋さんのオリジナル曲ですが、最近、父親を亡くされたその思いを作詞作曲されました。網野から来られていた女性は「ギター一本、どの曲も情景が思い浮かぶ歌は、本当に良かったです」と感想を述べておられました。梅雨空を吹き飛ばすくらいの、元気をいただいたコンサートになったようです。

祭りの最後は、餅まき、と言いたところですが、あいにくの雨降りでした。参拝者皆さんにお配りしました。また、餅だけでなく、出石町の長専寺様(浄土真宗)から今年もポップコーンの機械をお借りし、ポップコーンも皆さんに召し上がっ

和尚のつぶやき

身から出た錆

多少のストレスもあつてか、飲酒も関連して下痢が続き、それが痔瘻を引き起こしてしまいました。痛みも増して来るため、日帰り手術を受けましたが、まさに激痛の五分間でしかありません。まさに「身から出た錆」でした。ならぬ「身から出た膿」でした。

錆とは鉄自身から出るものであって、外から鉄に錆がつくことはありません。つまり、鉄が自分自身を腐らせていく過程が錆となって現れるわけです。



▲レイリィ河嶋浩司さん



梅雨空の下の祭りでしたが、多くの皆さん
の協力もあつて、和やかに、
そして賑やかな
歓声が山寺を包
みました。



「身から出た錆」の語源は、刀の手入れを怠ると刀身から錆が出て、いざという時に使い物にならず、自分自身の命を落とすことになるという戒めだそうです。

わがまま放題な振る舞いは、結局自らを損なうことになりますし、不養生をしておれば病気になるのは自分の身体です。もちろん悪事を為せば、その責を負うのは自分自身、誰かを怨んだり咎めたりすることはできません。

このような話があります。

ある人が達磨大師に「地獄とはどのようなところですか?」と尋ねたところ、達磨大師は、「あなたの心中にある貪瞋痴（貪り、怒りや嫉妬、愚かさ）の三毒です。それがまさ

墓地上段に手すりが付きました



松禪寺靈園の上段部分の手すりが付きま
した。責任役員会（総代会）で今年のお盆ま
で設置することに決まり、7月13日に取り付
け完了いたしました。これで安心してお参り
できます。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

に地獄なのです」と答えられた。そこでその人は続けて「では、極楽浄土とはどのようなところにあるのですか？」と問うたところ、達磨大師は「極楽浄土などというものは存在しません。ただあなたの心中にある三毒不淨を捨て去ったとき、それがすなわち極楽浄土です」と答えられたという。

まさに人間というものは、自ら三毒という錆を出し、自らを腐らせてしまう可能性を誰もが持っているのです。

施餓鬼会は、お釈迦様の十代弟子のお一人、阿難尊者の故事により、飲食供養の功德により亡者を救う行事として起こったものです。「餓鬼に施す」と書きますが、餓鬼とは六道（地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天上道）のひとつで、苦しみの世界であり、食べ物が無い飢えの世界なのです。しかも、餓鬼は自分の力で餓鬼世界から抜け出すことができないため、施餓鬼供養がその救いの道とされています。有縁はもとより、無縁の衆生に対しても供養する法要であり、自分自身に与えられた生命に感謝する意味合いもあります。

今年も多数の和尚様により法要を執り行います。施餓鬼はもともと初盆など特定の霊を供養するだけのものではなく、ご先祖様を始め、志す精霊にご供養することによって施主



平成 29 年度 施餓鬼会日程

8 月 7 日（月曜日） 午前 10 時

順番	目安時間	施主（敬称略）	住所
1	10:00	山門施餓鬼、添施餓鬼	
2	10:15	久世善樹	佐々木
		西垣直人	栗尾
		栗田家（小山輝久）	平田
		西垣芳典	栗尾
		柴田秀幸	栗尾
3	10:50頃	鶏魂供養（西垣源正家）	栗尾

えられる方は左表のとおりです。

皆様の現世安穩が得られるといわれています。ぜひ、ご家族お揃いでお参りください。

添施餓鬼にて先祖供養の塔婆をご希望の方は、8月5日までに松禪寺へ直接お申し込みください。

なお、施餓鬼会の日程と今年初盆を迎

平成 29 年 棚経の日程

棚経実施日	地 域
8 月 9 日（水）	清滝→本城→柴地→山根→貝田
8 月 10 日（木）	久畑→石原→佐田→大貝→平田→佐々木
8 月 11 日（金）	南尾→（施餓鬼会出頭）→出石町（午後）
8 月 12 日（土）	豊岡市→福知山市→岩滝
8 月 13 日（日）	西谷

まもなくお盆を迎えます。お盆は、普段から何も催促なさらないご先祖さまとの語らいの時でもあります。8月13日が迎え火にあたり、16日が送り火です。お墓をきれいに掃除して、ご家庭では仏壇を丹念に掃除して、お花、ろうそく、お線香、果物、お菓子、季節の野菜などを供えます。

お寺からは、9日から13日の間、棚経といって各檀家を廻って回向いたします。下表の日程で参る予定ですが、諸般の都合から急遽変更する場合もありますので、あらかじめご了承ください。朝から廻りはじめますが、後半は午後になります。